

「踏みしめて」第15号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

ゲリラ豪雨による災害や猛暑による熱中症など天候による被害が全国各地で現れています。そうした被害に遭わないよう、事前の対策に心掛けましょう。

さて、参議院選挙も無事終了しましたが、国政はねじれ国会となってしまいました。自民党政権時代にも何度かありましたが、こうした状況は、国政に対する国民不満の表れであると考えます。しかし多くの国会議員は、敗因は菅首相の消費税発言によるものだとか、表層部分の敗因しか口にしません。深層部分である国会議員それぞれのあり方に敗因があるということを早く認め、変わっていくべきです。

議長会会長に就任！

去る5月25日に、森町議会の大場孝尙議長が静岡県町村議会議長会会長（任期1年）に就任されました。また、平成21年6月16日には、村松藤雄町長が静岡県町村会会長（任期2年）に就任されています。このような会の代表に町長・議長が同時に就任されたことは大変名誉なことだと思います。この立場を活用し、森町にとって利作用が働くことに期待するところです。

排出量最小は森町 一般廃棄物

静岡県の平成20年度一般廃棄物処理事業実態調査によると、市町別1人1日当たりのごみ排出量における森町分は、なんと570グラムで県下1位の少なさでした。掲載されている平成17年度の実態調査から4年連続して1位の少なさです。

発表資料はこちらでご覧できます。→「静岡県ホームページ」→「一般廃棄物処理事業のまとめ」

家庭でできる温暖化対策 森町環境衛生自治推進協会

6月30日に、文化会館小ホールで森町環自協の総会が行われました。基調講演では、地球温暖化防止活動推進センターの服部乃利子氏より、家庭でできる温暖化対策についてお話を伺いました。

1. 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃引く設定する。…… CO2：約33kg、約1,800円
2. 週2日往復8kmの車の運転をやめる。…… CO2：約184kg、約9,200円
3. 1日5分間のアイドリングストップを行う。…… CO2：約39kg、約1,900円
4. 待機電力を50%削減する。…… CO2：約60kg、約3,400円
5. シャワーを1日1分家族全員が減らす。…… CO2：約69kg、約7,100円
6. 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。…… CO2：約7kg、約4,200円
7. ジャーの保温を止める。…… CO2：約34kg、約1,900円
8. 家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房と照明の利用を2割減らす CO2：約238kg、約10,400円
9. 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ。…… CO2：約58kg
10. テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす。…… CO2：約14kg、約800円

以上10項目全てを実施した場合、1家庭あたり年間で約736キログラムのCO2の削減ができ、約40,700円の節約ができるそうです。是非皆様も挑戦してみてください。

耕作放棄地の再生・利用の推進

2005年の農林業センサス（総合的調査）によると、森町の経営耕地面積は968ヘクタール、耕作放棄地は108ヘクタール、耕作放棄地率は10.0%と国全体の9.7%を上まわっています。このような状況を受け、森町では各種団体や個人が耕作放棄地の解消に動き出しました。

国は、平成21年度から25年度にかけ耕作放棄地再生利用緊急対策補助事業を設置し、更に22年度からは、静岡県も補助事業に加わりました。森町としてはまだ事業として予算計上されていませんが、申請者が現れた場合には柔軟に対応していく方向です。詳しくは産業課まで：電話85-6316

袋井市森町広域行政組合 議会報告

平成22年度の袋井市森町広域行政組合会計予算は、26億3千万円となっています。分担金及び負担金は、23億6,942万4千円で、うち森町分は5億1,192万5千円となります。

事業は、ゴミ処理施設（中遠クリーンセンター）、し尿処理施設（袋井衛生センター）、消防、火葬場となり、私たちの暮らしに欠かせない公共事業です。

分担金の約半分を占める事業が消防費で、11億1,788万3千円となります。うち森町分は2億6,214万4千円となります。以降平成21年度の「救急の概況」についてご報告します。

表1 市町別救急出動状況

	平成21年		平成20年		比較増減
	出動件数	構成比%	出動件数	構成比%	
袋井市	2,358	79.5	2,283	79.6	75
森町	589	19.9	567	19.8	22
東名	15	0.5	14	0.5	1
管轄外	3	0.1	3	0.1	0
合計	2,965	100.0	2,867	100.0	98

1 活動状況

平成21年1月1日から12月31日までの救急活動状況は、出動件数2,965件、搬送人員2,836人でした。

このことは1日平均約8.1件で、約2時間57分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

ポンプ車が救急隊支援のため同時出動（PA出動）した事案は451件ありました。

表2 事故別救急出動状況

	出動件数 (支援)	救急件数	出動件数 構成比%	搬送人員		
				男	女	計
火災	4	1	0.1	1		1
自然災害						
水難	1		0.0			
交通	399 (36)	368	13.5	242	189	431
労働災害	39 (7)	38	1.3	33	5	38
運動競技	26 (1)	26	0.9	23	4	27
一般負傷	383 (32)	359	12.9	192	168	360
加害	17 (2)	16	0.6	11	5	16
自損行為	47 (18)	33	1.6	10	23	33
急病	1,782 (352)	1,669	60.1	937	733	1,670
その他	267 (3)	260	9.0	153	107	260
合計	2,965 (451)	2,770	100.0	1,602	1,234	2,836

2 出動件数

事故種別で見ると、第1位「急病」、第2位「交通事故」、以下「一般負傷」、「自損行為」等の順となり、急病1,782件（60.1%）、交通事故399件（13.5%）の両種別が、全体の73.6%を占めています。

3 搬送人員

搬送人員は2,836人で、第1位「急病」1,670人（58.9%）、第2位「交通事故」431人（15.2%）となり、両種別で全体の74.1%を占めています。

また、収容先病（医）院状況では、「袋井病院、森町病院」を中心に管内の7病（医）院、2,266人（79.9%）、管外の病（医）院566人（20%）、その他ドクターヘリに

4人（0.1%）を収容しました。

このうち、高齢者（65才以上）の搬送人員は、1,421人（50.1%）でした。